



あれから、百年

埼玉県立図書館百周年記念資料展

大正11年10月、北足立郡工区員出張所跡に開設された県教育会立埼玉図書館。これが埼玉県立図書館の歴史の始まりです。

県民の皆様とともに歩み続け、令和4年、埼玉県立図書館は百周年を迎えました。これを記念して、今までの歩みを振り返る「あれから、百年 埼玉県立図書館百周年記念資料展」は、巡回展示・パネル展示・文書館との共催展示の3部構成として、県内各地で開催しました。

時間をかけて準備を行った大規模な資料展は、県民の皆様とともに県立図書館の歴史をたどる貴重な機会となりました。



資料展ウェブサイトはこちら▶
展示に使用した資料リストなどを掲載しています

◀ 書庫に保管されている館史資料や物品を調査、創立以来の展示にふさわしいものを選んで構成を決定しました。



▲登録第1号は百科事典



▲記録写真のアルバム



▲大正から昭和の日誌

巡回展示（熊谷図書館・久喜図書館）



▲【熊谷図書館】
日時：令和4年10月8日(土)～11月6日(日)
場所：2階ロビー

熊谷図書館と久喜図書館で開催された巡回展示では、終戦後、GHQが県に無償貸与し、各地で出張上映に使われた16ミリ映写機 Natco（ナトコ）の実物や、開館当時の記念グッズなど、今では貴重なものを数多く展示しました。

作製したキャプションやパネルの枚数は**108枚**にも及びました！

16ミリ映写機 Natco（ナトコ） ▼

移動図書館車「むさしの号」ナンバープレート ▼



▲【久喜図書館】
日時：令和4年11月12日(土)～12月18日(日)
場所：2階公開図書室

久喜図書館の巡回展示は「第24回図書館総合展 2022 ONLINE_plus」のサテライト会場にもなりました。

より良い資料展になるよう準備を行いました。

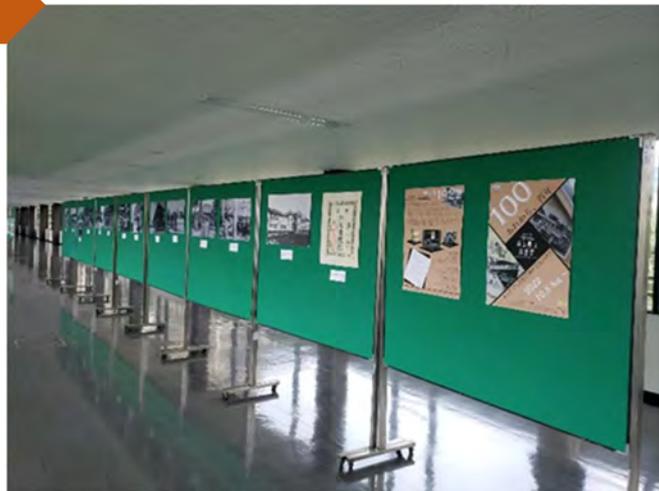
準備風景



パネル展示（県庁舎）

県庁舎で開催したパネル展示では、往時を感じる写真31枚を展示しました。

浦和書籍館（県立図書館の前身）や浦和・熊谷・川越・久喜に4館設置されていた当時の図書館の外観、映画のロケにも使われた浦和図書館のレトロな館内、ボンネット型の移動図書館車など、目で見て楽しめる展示を心掛けました。



▲【県庁舎】

日時：令和4年10月12日(水)～11月4日(金)

場所：本庁舎・第二庁舎間3階連絡通路



▲浦和書籍館
閲覧券第一号
(明治10年)



▲混み合う
浦和図書館
(昭和35年頃)



▲川越図書館
外観
(平成10年頃)

共催展示（文書館）



文書館のマスコット
キャラクターもんじろうが
お出迎え！



▲【文書館】

日時：令和4年12月13日(火)～令和5年2月12日(日)

場所：1階常設展示室・1階展示室前廊下



当時の図書館長によって
書かれた文書館の表札。
側面には署名が！

文書館閲覧室 ▶



▲埼玉県立図書館内文書館



図書館と文書館との関わりを知るといテーマで文書館との協働により展示を行いました。かつて、文書館は図書館内で運営されていました。

常設展示室には、県立図書館文書館増築工事の契約書や、当時の図書館長によって書かれた文書館の表札など、文書館収蔵史料を3点展示。文書館収蔵史料の選定や展示ケース内のキャプションは、文書館の学芸員が作製しました。

1階廊下には、文書館が収蔵する戦後報道写真より移動図書館車「むさしの号」をはじめ、当時の様子を偲ばせる写真を展示。長く楽しんでいただけるよう、展示期間中に、写真を数点入れ替えました。

これから、百年

この資料展の開催は、新たな百年への1歩を踏み出す機会となりました。これからも県民の皆様へのニーズに応え、主体的な活動を支援する図書館として、日々進化を続けていきます。

「これから、百年」の埼玉県立図書館に、是非ご期待ください。